



収集車が、ごみピットにごみを投入する場所です。

燃焼室を出た排ガス中の未燃分を再燃焼させCOを低減させます。



再燃焼室



焼却炉

ごみは850~950℃の高い温度で燃やされて灰になり大幅に減量されます。焼却炉の中は、高い温度に耐えられるようレンガで囲われ、ごみは火格子の上で効率よく燃焼します。



ガス減温器から出た排ガス温度をさらに、約170℃まで冷却します。



中央制御室

主要設備の集中管理により、最適な運転を行うと共に、大気中に放出される排ガスの成分濃度を常時監視しています。



加熱器

ろ過式集じん器および空気予熱器から排出された集じん灰は脱塩素化処理することでダイオキシン類を除去します。その後、薬剤(キレート剤)を添加して混練することによって重金属の安定化を図ります。

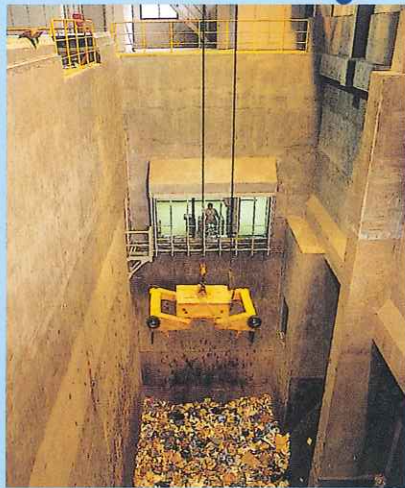
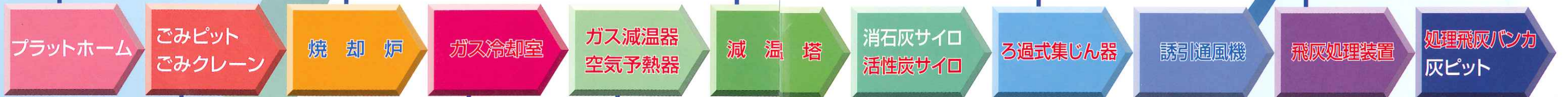


混練機



排ガス中のダイオキシン類を吸着した活性炭とばいじんを、ろ布表面で捕集し排ガスを清浄にします。

赤字 新設設備  
青字 改修設備



ごみを一時的に貯留し、ごみクレーンで攪拌して焼却炉へ運びます。



ガス冷却室は高温の排ガスを自動制御の水噴霧により、急速に冷却します。



ガス減温器



空気予熱器

空気予熱器は排ガスの予熱を利用して燃焼空気を温めます。また、ガス減温器で排ガスを約230℃まで低下させます。



活性炭サイロ



消石灰サイロ

排ガス中のダイオキシン類・塩化水素を除去するために粉末活性炭と消石灰を噴霧します。



排ガスがろ過式集じん器を通過するために、強制的に吸引、排出するものです。



処理飛灰バンカ



灰ピット

飛灰処理物はバンカに貯留されたのち、トラックで搬出されます。また、焼却灰は灰ピットに貯留され同様にトラックで搬出されます。